

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010 年 4 月 1 日を以って NEC エレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010 年 4 月 1 日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル
株式会社 ルネサス テクノロジ
問合せ窓口 <http://japan.renesas.com/inquiry>
E-mail: csc@renesas.com

製品分類	MPU&MCU	発行番号	TN-380-A066A/J	Rev.	第1版
題名	38D2 グループデータシートのタイマY仕様訂正について		情報分類	技術情報	
適用製品	M38D24G4 - XXXFP/HP, M38D24G4FP/HP M38D24G6 - XXXFP/HP, M38D24G6FP/HP M38D28G8 - XXXFP/HP, M38D28G8FP/HP M38D29GC - XXXFP/HP, M38D29GCFP/HP M38D29GF - XXXFP/HP, M38D29GFFP/HP M38D29FFFP/HP, M38D29T - RLFS	対象ロット等	関連資料	38D2 グループデータシート	

38D2 グループのデータシート (Rev.2.02 RJJ03B0176-0202) におきまして、下記に示す内容にてタイマYの仕様を訂正致しますのでご確認ください。

<訂正内容>

38D2 グループのタイマYにおいて、リアルタイムポート機能用のリアルタイムポート制御ビット（タイマYモードレジスタのビット1、0）を訂正いたします。

リアルタイムポート制御ビットはP46、P47を共通で制御します。設定値は“002”、“112”のみ有効、“012”、“102”は設定禁止です。

上記より、データシート上の次の表記を訂正致します。

- (1) リアルタイムポート制御 説明
- (2) タイマY関連レジスタの構成
- (3) タイマYのブロック図

38D2 グループデータシート Rev.2.02 の該当箇所を訂正し、Rev.3.00 として発行致します。

<訂正箇所>

- (1) リアルタイムポート制御 説明

[訂正前]

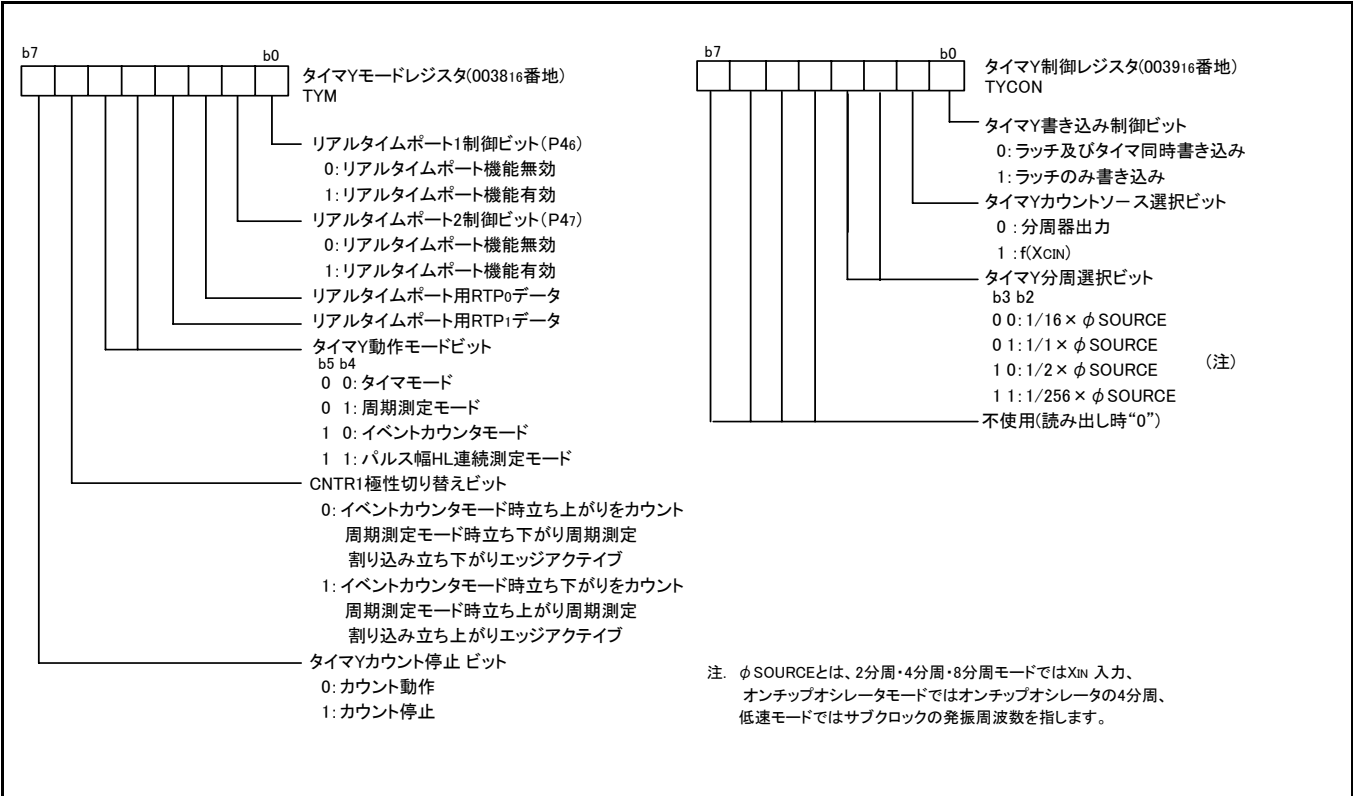
リアルタイムポート機能有効時はタイマYがアンダフローするたびにリアルタイムポート用データがそれぞれポートP46、P47から出力されます。（ただし、リアルタイムポート用データを設定した後、リアルタイムポート制御ビットを“0”から“1”に変えたときには、タイマYの動作に関わらずデータが出力されます。）リアルタイムポート機能有効時にリアルタイムポート用データを変更すると、次のタイマYのアンダフローで変更された値が出力されます。この機能を利用するときは対応するポートの方向レジスタを出力に設定してください。

[訂正後]

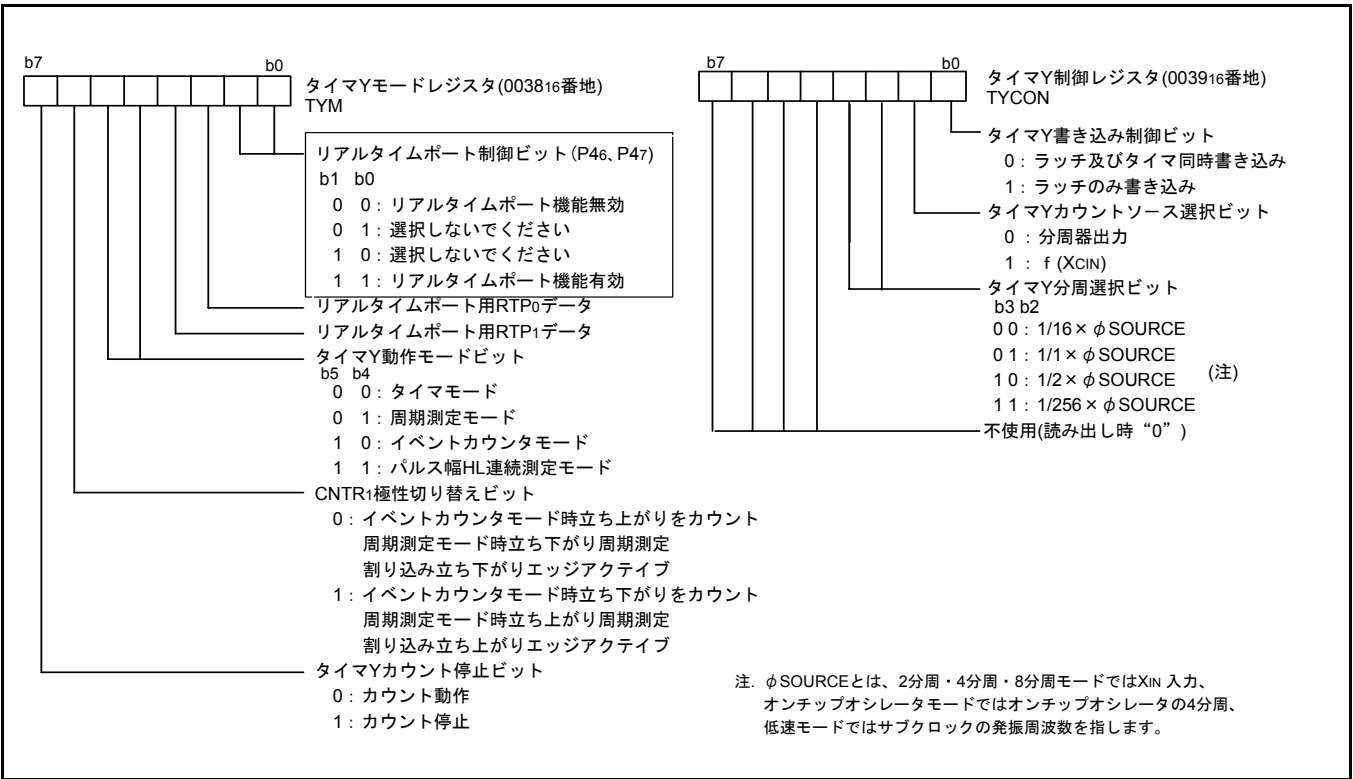
リアルタイムポート機能有効時はタイマYがアンダフローするたびにリアルタイムポート用データがそれぞれポートP46、P47から出力されます。（ただし、リアルタイムポート用データを設定した後、リアルタイムポート制御ビットを“002”から“112”に変えたときには、タイマYの動作に関わらずデータが出力されます。）リアルタイムポート機能有効時にリアルタイムポート用データを変更すると、次のタイマYのアンダフローで変更された値が出力されます。

リアルタイムポート制御ビットで有効／無効を切り替える場合は、2ビット同時に切り替わるように、LDM、STA 命令などを使用して、バイト単位でタイマYモードレジスタへ書き込んでください。また、この機能を利用する場合は、対応するポートの方向レジスタを出力に設定してください。

(2) タイマY関連レジスタの構成
<訂正前>

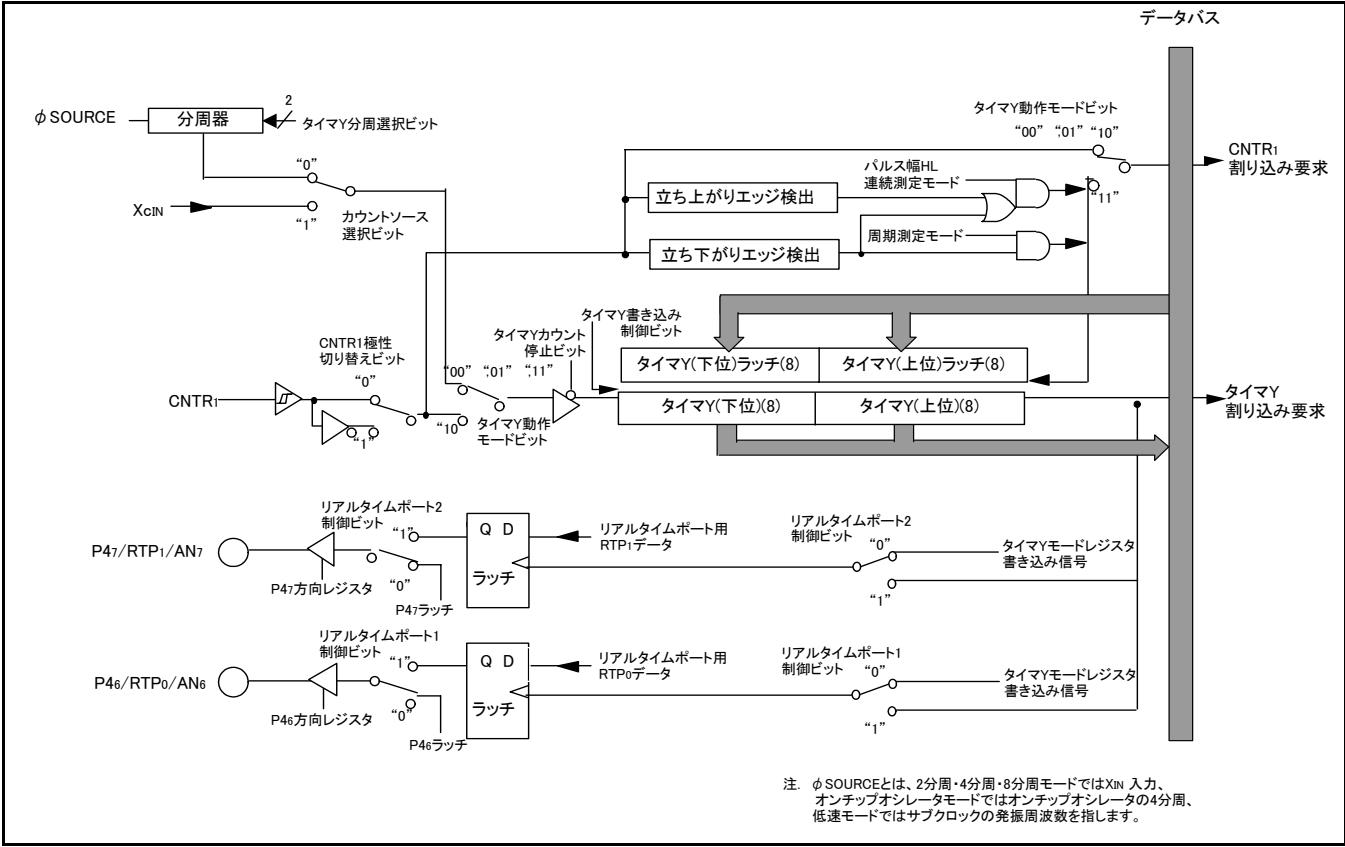


<訂正後>



(3) タイマYのブロック図

<訂正前>



<訂正後>

